

## チビッコ美術館

### 「にじいろのさかな」



あがつま 我妻 里々花 さん      たかこ ことは 高子 琴葉 さん (白一小1年)

### わが家の アイドル

ママからひとこと  
いつも笑顔をくれて  
ありがとう！

パパからひとこと  
たくましく育てね！

※わが家のアイドルを募集中！  
詳しくは総務課広報広聴係  
(☎22-1331)へ



高橋 蓮くん  
たかはし れん  
寛明さん、亜理彩さんご夫婦の長男

## それいけ！ 地域おこし協力隊

白石の魅力を再発見！

109-oneを拠点に活動する地域おこし協力隊・能城と青木の2人が、それぞれの得意分野である彫刻と絵描きを生かして、白川保育園でモノづくり体験を企画しました。



1\_ おもりとなる石に色を塗る作業  
2\_ 完成した起き上がりこぼし



地域おこし協力隊  
のしろ ちおん  
能城 智園

「竹を使ったモノづくりを園児たちに体験させたい」との園長先生の思いに、「作る楽しさを伝えたい」という私たちの思いが重なり、今回の企画が生まれました。子どもたちが思い思いのイメージを形にして行く姿を見て、モノづくりの楽しさを伝えることができたと思います。ご協力いただいた先生方や地域の方に感謝しています。

地域の魅力ある取り組みがありましたら、ぜひ109-oneにお知らせください！

10月15日、白川保育園で地元の竹を使った「起き上がりこぼし」づくりが行われ、地域おこし協力隊の能城・青木の2人が講師として参加しました。

「起き上がりこぼし」は、輪切りにした竹に、色を塗った石のおもりを接着して、最後に折り紙や絵を描いた紙を貼り付けて出来上がりです。子どもたちは作業が始まると、石に何を描こうか想像してワクワクしながら、夢中で石に色を塗ったり、石を竹に接着する作業に手こずったり、集中してモノづくりに取り組んでいました。

白川地区では昔、竹を使った生産業が盛んだったそうです。現在も多くの竹林があり、地元の方から材料の竹を提供してもらいました。地元のモノでモノづくりをすることは、とても魅力を感じますし、子どもたちにとっても学びの機会や、貴重な経験になったと思います。

